

作井技術委員会の活動報告（平成 25 年 1 月～12 月）

委員長 池田正市(国際石油開発帝石)

◇活動方針:

- 1) 作井技術委員会は、作井技術の分野において、技術の普及と向上に努めることによって、石油技術協会ひいてはエネルギー開発業界の技術レベルの向上に寄与する。
- 2) 会員相互の情報交換と懇親を深める場を提供し、作井分野の活動の活性化に寄与する。

◇活動実績の概要:

- 1) 運営幹事会:幹事 11 名、分科会座長 2 名、事務局 1 名の計 14 名で、4 回開催した。
- 2) 作井技術委員会:上記 14 名に委員 25 名を加えた計 39 名を対象に、2 回開催した。
- 3) 大水深掘削技術分科会(MQJ 古谷座長、委員 30 名):1 回開催した。
- 4) HSQE 分科会(JDC 福嶋座長、委員 15 名):1 回開催した。
- 5) 25 年度春季講演会で提案した「異業種との情報交換会」の第一回を開催した。

◇活動内容:

2 月 01 日	運営幹事会	11 名	春季講演会シンポジウム趣意書の検討
3 月 29 日	作井技術委員会	28 名	趣意書と講演プログラムの承認、(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)による特別講演「宇宙での太陽光発電の実用化に向けて」
6 月 10 日	運営幹事会	10 名	平成 24 年度会計報告、春季講演会の司会進行確認
6 月 27-28 日	春季講演会(代々木)	124 名	シンポジウム「進歩する機器・素材と坑井デザイン(多様化するデマンドへの対応)」と個人講演 18 件
7 月 22 日	運営幹事会	10 名	春季講演会総括、25 年度活動方針と予算の検討
8 月 21 日	情報交換会	30 名	異業種(機器・素材メーカー)と第一回開催
9 月 6 日	大水深掘削技術分科会	20 名	大水深関連の SPE 文献を紹介した。
9 月 11 日	HSQE 分科会	17 名	BOP パフォーマンスと Well Capping に関する講演 2 件実施。
9 月 17 日	作井技術委員会	25 名	25 年度活動方針と予算の承認、年間スケジュール確認、分科会報告、(株)大林組による特別講演「東京スカイツリーの建築(世界一への挑戦)」
11 月 12 日	運営幹事会	11 名	平成 26 年度春季講演会作井部門シンポジウムテーマ内定「メキシコ湾原油流出事故の精査から掘削技術者が学んだこと(仮題)」

以上